

⑨特殊モルタル打設

打設はコテ仕上げを基本とし、1施工あたりの厚さを2~3cm程度として施工した。打設厚の厚い箇所については、数回の施工となる為ホウキ目を打継ぎ面に入れる。また、冬期施工となった為、外気温によっては、既設コンクリートハツリ表面をジェットヒーターと、ビニールダクト使用による加熱養生を先行して実施した。



写真 3.13 補修材下塗り (SIRC-D3)

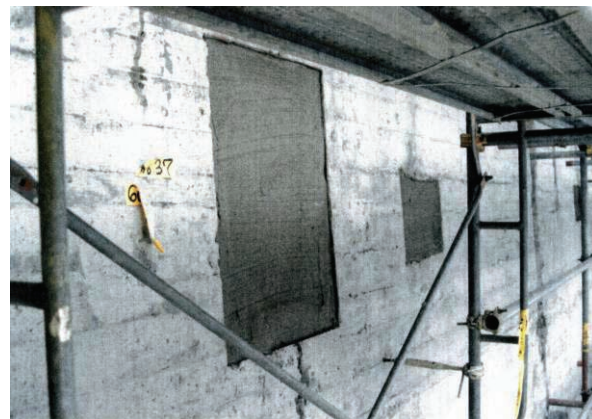


写真 3.14 打継部ホウキ目仕上げ

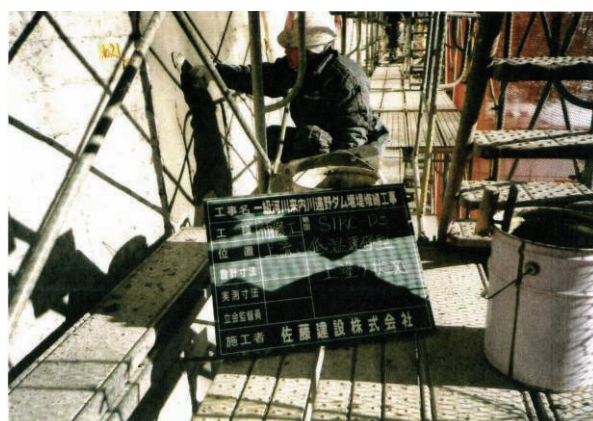


写真 3.15 補修材上塗り (SIRC-D3)



写真 3.16 補修部プライマー処理(ライオン GRLC)



写真 3.17 補修材下塗り(ライオン GRLC)



写真 3.18 補修材上塗り(ライオン GRLC)

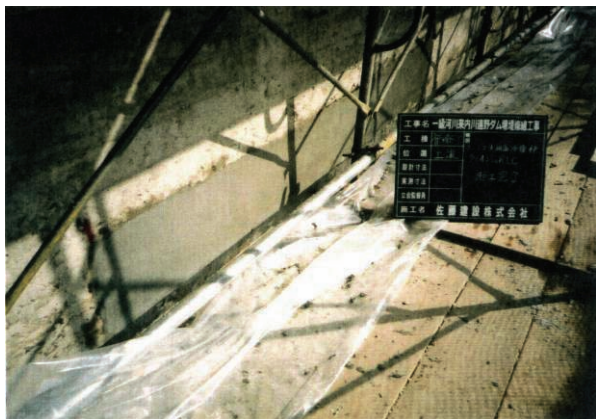


写真 3.19 補修完了(ライオン GRLC)



写真 3.20 補修材下塗り(タフェース)



写真 3.21 補修材上塗り(タフェース)

⑩養生

施工後は、ジェットヒーターと簡易ビニルダクトによる加熱養生を行い、その期間は5日間とした。



写真 3.22 養生 (ビニルダクト)

⑪目地切加工

補修箇所がブロックジョイントにあたる箇所は、特殊モルタルによる修復後にカッター目地を施工した。

⑫堤体上流面補修完了

堤体下流面補修完了状況を示す。



写真 3.23 堤体上流面補修完了



写真 3.24 堤体上流面補修完了（左岸から）